

大切なご家族のため、また何より、ご自身の人生を充実させるため、お役に立てる情報をお届けいたします。終活・相続に詳しい豊前の弁護士といえば西村だ！と思い出していただけよう頑張ります！

目次

- P1 ◆プライベートのひとこま
- P2 ◆レビュー
- P3 ◆終活に関する名言・格言いろいろ ～ 10 ～
- P4 ◆こんなときどうする？
- P5 ◆エンディングノートおためしワーク
- P6 ◆お知らせ



プライベートのひとこま

昼間は苦しくなるような暑さが続いておりますが、みなさまはいかがお過ごしでしょうか。

私たちは大阪に行ってまいりました。テレビで見たことがある！というもののばかりで、とても新鮮でした。

一方で、きらびやかな街や立ち並ぶマンションを見ていたら、ふと「この地域のつながりって何だろう？」と疑問が浮かびました。普段、私たちが暮らす地域での「つながり」と、大都会での「つながり」は、きっと違うのだらうなと思います。

良し悪しではなく、価値観の違いです。そして、終活や相続の話になると、全国各地にいる家族とやりとりをすることになります。

「家族だから分かってくれるはず」が通用しないというのはよく耳にします。相手の立場に、物理的に立ってみる（訪れてみる）というのも、分かりあうことに繋がるかもしれませんね。



レビュー【認知症になった私が伝えたいこと】

認知認知症および軽度認知障害（MCI）の高齢者数は、令和4年に443.2万人にのぼったそうです。

テレビでも書籍でも頻繁に取り上げられる認知症ですが、実際はどのような体験をしていくのでしょうか。

本書は、51歳で認知症と診断された佐藤雅彦さんが、さまざまな工夫をしながら一人暮らしをなさっている様子がつづられています。

医療が進歩している今、認知症になっても人生は長くつづきます。では、どう生きるのか。そう考えるきっかけをいただける一冊です。

認知症になってからも「できること」は？

認知症の症状で真っ先に思い浮かぶのは、記憶障害でしょうか。

佐藤さんは、様々な葛藤と、仲間との出会いを経て、元々得意だったパソコンの他に携帯電話を活用することを始めました。さらに、タブレットの操作方法も、認知症になってから習得したのだそうです。

たしかに、デジタル機器の力を借りることは効果的だとは思いますが、認知症と診断された後に操作方法を覚えたということは、意外に思われる方もおられるのではないのでしょうか。

当然、習得への道のりは平坦なものではないでしょう。そのうえで佐藤さんは、ご自身が生きることを見つめて、心から望むことを叶えるために努力なさったのだと思います。

病名、障がい名などに触れると、つい「できないこと」に目をむけがちになります。それも理解した上で、「できること」に目を向けながら、互いに支え合いたいですね。

この本は、8月の終活お話会にも持参します。みなさまと感想を語り合えることを楽しみにしております。



終活に関する名言・格言いろいろ ～ 10 ～

岡本太郎さん（1911 年 2 月 26 日～1996 年 1 月 7 日）

太陽の塔で知られる、芸術家の岡本太郎さん。名言といえばやはり、「芸術は爆発だ」のイメージでしょうか。

調べてみると、人生を熱く生き抜いた岡本さんの名言と、たくさん出会うことができました。



相手に伝わらなくてもいいんだと思って純粹さを貫けば、
逆にその純粹さは伝わるんだよ

他人が笑おうが笑うまいが
自分で自分の歌を歌えばいいんだよ

人生は、他人を負かすなんてケチ臭い卑小なものではない。

僕は忘れるというのを素晴らしいことだと思っている。
負け惜しみではなく、
忘れるからこそ、常に新鮮でいられるんだ。

終活において、「伝える」ということは非常に重要なテーマです。
どんなに緻密に情報を書き込んだエンディングノートがあっても、
どんなに法的効力のある遺言書があったとしても、最終的には人（相続人）の心で決まっていきます。

だからこそ、想いを伝えることが大切になります。逆に、思いが
伝わっていれば、それをもとに手続きや行動をすることができます。

ただ、なかなか想いは伝わりにくいのも事実です。

そんななかで、純粹さを貫くことを説く岡本さんの言葉を、大事
に胸に刻みたいと思います。

みなさまの心には、どんな言葉が響きましたでしょうか。

こんなときどうする？ ～訪問介護で頼めない？～

周防みち子さん（79歳）

- ・ 築40年の一軒家在住
- ・ 家族は娘のみ
- ・ （家庭、仕事あり）
- ・ 4年前から高血圧の薬
- ・ 膝の変形あり
（自宅内なら歩ける）
- ・ 昨年、浴室で転倒
- ・ 一人暮らしは続けたい
- ・ 認知症の診断なし
- ・ 要介護2の認定
- ・ 訪問介護サービス開始

ヘルパーさんに、
何を頼んで良いのかしら？



訪問介護のサービスとは

訪問介護サービスは、以下の3つのサービスを指します。

①生活援助 ②身体介護 ③通院等乗降介助

それぞれ、以下のようなサービスを受けることができます。

①生活援助：調理、洗濯、掃除、買い物代行、薬の受取など

②身体介護：入浴、排せつ、食事介助、移動・移乗など

③通院等乗降介助：移動前の準備、窓口での手続き、乗降介助など

※具体的な内容については、サービスを受ける方の状況に合わせて、ケアマネジャーという専門職の方が、ケアプラン（介護サービス計画書）を作成します。

一方で、訪問介護サービスでは頼めないこともあります。

上記のケアプランに含まれていないことのほか、利用者以外の食事の調理などの家事や、ペットの世話などです。

周防みち子さんの場合にも、ケアプランは作られているはずですので、ケアマネジャーさんに確認してみましょう。

エンディングノートの意義と活用術 ～ 12 ～

毎月開催している「終活お話し会」では、エンディングノートの1ページを一緒に書きましょう！というワークを行っています。

無料で、2つ穴ファイルをプレゼントしていますので、1ページずつ書き溜めていただくと、エンディングノート（ファイル）ができる、という仕組みにしております。

最近は書店でも様々なエンディングノートが並んでいますが、やはり一冊まるまる書き上げるのはなかなかの労力が要ります。

そこで、1ページずつ一緒に出会っていくことで、ひとつひとつの視点ごとに人生と向き合っていく機会になるのでは、という趣旨です。

よろしければ、ここで少し書き込んでみませんか？

テーマは、「思い出の香り」です (*^^*)



〈夏と言えばこの香り！〉

◆思い出：_____

〈あの人を思い出すこの香り…〉

◆お名前：_____

◆思い出：_____

〈気持ちが安らぐ香りといえば…〉

◆思い出：_____

ありがとうございました！

香りと記憶は、密接な関係があると言われています。ぜひ、その香りと共に、ゆっくりと思い出に浸ってみてください。

お知らせ



終活お話し会

まさか揉めたりしないよね？

もし認知症になったら？

音信不通の家族、どうする？

遠くの両親が心配…

遺言書って必要？



あの人には渡したくない

親の話に納得できない

秘密にしていることがある

こんな終活のモヤモヤ、わたしたちと語り合いませんか？

あたたかい雰囲気の中、毎回異なるテーマで終活と向き合っていきます。
毎回、弁護士西村が参加しますので、「こういうのは法的にどうなの？」「こんな話を聞いたけれど、実際どうなの？」など、
ちょっとした疑問をお気軽にご相談ください！

終活は、人生のはなし。

お話し会での学びや、参加者様どうしのご縁の中で
あらたな気づきがあるかもしれません。



次回の終活お話し会は…

- 語り合うテーマ：もしも認知症になったら？
- ミニセミナーテーマ：リクエストにお答えします！
- エンディングノートを書いてみるワーク

- ・ 8月18日（月）14：30～16：30
- ・ 豊前市総合福祉センター 視聴覚室
- ・ ご参加無料 / ご予約不要

毎月開催中です！

お問い合わせ：080-3948-9102（西村愛）

発行元 豊前総合法律事務所

〒828-0028

豊前市青豊19-14スペースI

TEL：0979-53-9106

FAX：0979-53-9107

開所時間：平日9時～18時

相続専門ホームページ

